

医学部薬理学教育におけるロールプレイ演習の導入

後藤 雄輔¹⁾ 柳田 俊彦²⁾ 喜多紗斗美¹⁾
田頭 秀章¹⁾ 岩本 隆宏¹⁾

¹⁾ 福岡大学医学部薬理学

²⁾ 宮崎大学医学部看護学科臨床薬理学

要旨：ロールプレイは、学生が与えられた症例に従って医療者、患者、患者家族、評価者を自由に演じるシミュレーション教育である。講義形式で行われる知識授与型教育とは異なる教育アプローチであり、知識の習得に加え、コミュニケーション能力やモチベーションの向上も期待される。近年、薬理学教育の現場においては複数の大学でロールプレイ演習が導入されており、福岡大学医学部薬理学講座では、平成24年度よりロールプレイ演習を導入した。医学部3年生は基礎科目から臨床科目への移行期であるが、この時期にロールプレイ演習を通して患者への分かりやすい説明を意識しながら薬物療法を学ぶことは大変有意義である。平成26年度のロールプレイ演習に対する学生アンケート調査では、多くの学生が本演習の主旨を理解し、有用な教育方法であると評価していた。

キーワード：ロールプレイ演習，薬理学教育，コミュニケーション，モチベーション